

12月・1月・2月の行事日程一覧
12月 1日 (日)【中世城館測量調査】(要申込) 志川滝山城跡測量調査
12月 7日 (土)【ぶら探訪 84】(要申込) 駅家町近田に近世の痕跡をめぐる
12月 14日 (土)【歴史講演会】(要申込) 吉川元春と備後
12月 14日 (土)【望年会】(要申込) 歴史講演会終了後 引き続き御湯殿で行います。
12月 20日 (金)【入門講座】(要申込) 古文書入門講座
12月 21日 (土)【分布調査】(要申込) 中世石造物分布調査 (駅家町方面)
1月 12日 (日)【中世城館測量調査】(要申込) 志川滝山城跡測量調査
1月 25日 (土)【歴史講演会】 天平8年の遣新羅使船は大飛島に寄ったか一神島は大飛島か一
1月 25日 (土)【総会】【新年会】(要申込) 同封の返信用葉書にて出欠のご返事をお願いします。
1月 27日 (月)【分布調査】(要申込) 中世石造物分布調査 (奈良津町方面)
1月 31日 (金)【入門講座】(要申込) 古文書入門講座
2月 1日 (土)【ぶら探訪 85】(要申込) 山手に中世石造物を訪ねる
2月 2日 (日)【中世城館測量調査】(要申込) 志川滝山城跡測量調査
2月 22日 (土)【分布調査】(要申込) 中世石造物分布調査 (加茂町方面)
2月 28日 (金)【入門講座】(要申込) 古文書入門講座

各部会学習会のスケジュールは5～6ページを参照ください。

## 2024 (令和6) 行事案内 12月号



備陽史探訪の会の目的  
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。  
(会則第1章第2条より)

## 行事参加の お申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

◎公式サイトに参加申込フォーム  
[[https:// :bingo-history.net](https://bingo-history.net)]



◎事務局へメール  
[[info@bingo-history.net](mailto:info@bingo-history.net)]  
◎事務局へ電話  
[ 070 - 1074 - 9617 ]

〔備陽史探訪の会事務局〕  
〒720-0824  
広島県福山市多治米町 5-19-7

12月7日(土)

ぶら探訪 84

駅家町 近田に近世の痕跡をめぐる

古文書部会では品治郡近田村(現・駅家町近田)の組頭を代々務めた近田村井上家文書の解説を2019年から続けています。井上家文書には、近田村の運営に関する様々な文書が残されており、解説によって当時の村の景観やそこに住む人々の様子が見えてきました。

そこで今回のぶら探訪では、井上家文書を手掛かりに近田村に残る近世の痕跡を辿ります。併せて、備陽六郡志などにみられる旧跡も訪問します。

- 【集合時間】 午前9時(受付開始 8時30分)
- 【集合場所】 JR福塩線「近田駅」
- 【アクセス 鉄道】 福山駅8:17→近田駅8:44があります。
- 【解散時間・場所】 午前12時頃(近田駅)
- 【講師】 小林悠一(古文書部会 部会長)
- 【募集人員】 40名
- 【参加費】 会員100円 一般300円
- 【探訪ルート】

小雨決行

要  
申込

近田駅 — 信岡武平治顕彰碑 — 石州道と大塚池 — 近田八幡神社と大歳神の森 — 井溝川と福山道 — 溝下荒神社 — 札場燈籠 — 近田小学校跡 — 山上荒神社・山上地藏堂 — 最明寺跡  
(散策距離:約4キロ)

【備考】 小雨決行、歩きやすい靴・服装で。水筒もお忘れなく。

12月14日(土)

歴史講演会・望年会

## 演題 吉川元春と備後

講師 木村信幸先生  
(広島県立歴史博物館主任学芸員)

「毛利の両川」として戦国大名毛利氏の一翼を担った吉川元春、その生涯と備後のかかわり等を、吉川元春研究の第一人者である木村信幸さんに話して頂きます。ご期待下さい。

- 【期日・時間】 12月14日(土)午後2時~3時半
- 【会場】 御湯殿(福山城本丸内)
- 【参加費】 無料
- 【募集人員】 50名(要申込) 会場に限りがあるため、申込をお願いします。

要  
申込

## 望年会

今年も恒例の望年会を実施します。公の場では聞けなかったような話も聞けると思います。コロナ後通常に復して来た今年と来年に向けて積もりに積もった話で大いに盛り上がりましょう。

- 【会場】 御湯殿(福山城本丸内) 講演後、同じ場所で引き続き行います。
- 【時間】 午後4時30分頃から
- 【会費】 3,000円(予定)
- 【募集人員】 30名(先着) 要申込み

要  
申込

会員でない方も聴講できます。(無料)

1月25日(土)

記念講演会・総会・新年会

記念講演会

【場所】 備後遺族会館 3階会議室
【時間】 午後1時30分～3時

【演題】 「天平8年の遣新羅使船は大飛島に寄ったか」
―神島は大飛島か―

講師 檀浦生日(備陽史探訪の会 会員)

万葉集第15巻には天平8年(736年)に派遣された遣新羅使が、航路上各地で詠った歌と古歌が145首載っている。その中の一首「月読みの 光を清み 神島の 磯廻の 浦ゆ 船出す我は」の「神島」をめぐっては、江戸時代から、福山市神島(かしま)説と笠岡市神島(こうのしま)説の二説があり、いまだ決着がついていない。そういった中で昭和37年に笠岡市大飛島で、航海の安全を祈ったと考えられる祭祀跡が発見され、「神島は大飛島ではないか」という意見が出てくるようになったが、いまだ論拠に乏しいのが現状である。

今回はこの時の航路や潮の流れ、月や太陽の動きなどから、遣新羅使船が大飛島に立ち寄ったであろうこと、即ち神島は大飛島であることを具体的にお示ししたいと考えている。

総会

講演会終了後、同会場で行います。

【時間】 午後3時45分～4時45分
【議題】 ・令和6年度事業報告・令和6年度決算報告
・令和7年度行事計画・令和7年度予算案・その他

ハガキで返信

新年会

総会終了後、同会場で行います。

コロナが終わって会の活動も徐々に以前の状態に戻りつつありますが、行事の参加者など完全には回復していない状態です。この新年会をかわきりに盛り上げていきましょう。

【時間】 午後5時頃から
【会費】 3,000円

ハガキで返信

それぞれの出欠について、同封のハガキで1月18日までに必ず返信をお願いします。

12月1日(日)

中世城館測量調査

志川滝山城跡

平板測量調査を行います。山城の構造を実地に詳しく知りたい方は是非ご参加下さい。

【集合・解散時間】 午前9時集合～4時頃解散
【集合場所】 龍田神社駐車場 福山市加茂町北山612
【主催】 中世史部会
【備考】 要申込 昼食 飲物持参 歩きやすい服装・靴は滑りにくい靴底の靴 雨天積雪中止。

雨天中止

※以降1月12日(日)・2月2日(日)も同じ要項で行います。

要申込

<b>2月1日(土)</b>	<b>ぶら探訪 85</b>	<b>山手に中世石造物を訪ねる</b>
『福山の中世石造物 —備陽史探訪の会 中世石造物調査報告(Ⅱ)—』をもうすぐ刊行します。その掲載するところの中で最も興味深い山手町の魅力を再発見しましょう。		
三寶寺(山手町33番地)は杉原氏の菩提寺で、杉原氏の墓石もあります。また、荒神社付近にはいろんな石造物があります。		
【集合時間】	午前10時(受付開始 9時30分)	<b>小雨決行</b>
【集合場所】	JA山郷支店 駐車場	
【アクセス 車】	駐車場 三寶寺の駐車場が使用できます。	<b>要 申込</b>
【アクセス バス】	福山駅前バス停(中国バス)9番線 津之郷行き 9時30分発 JA山郷支店バス停 下車(9時50分頃 着)	
【解散時間・場所】	午前12時頃 正圓寺(山手町2486番地)南東の荒神社	
【講師】	篠原芳秀(備陽史探訪の会 副会長)	
【募集人員】	40名	
【参加費】	会員100円 一般300円	
【主な見学地】	三寶寺から正圓寺方面にかけての石造物所在地	
【備考】	小雨決行、滑りにくい靴 歩きやすい服装で。水筒もお忘れなく。	

<b>12月21日(土)</b>	<b>中世石造物調査</b>	
12月は、駅家町を調査します。事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。		
【集合・解散場所】	午後1時半 福山市役所 北部支所の入口付近	<b>雨天中止</b>
【講師】	篠原芳秀(副会長)	
【その他】	雨天の場合は中止し、後日実施。 実施可能かどうか、微妙な天気の際は、事務局まで電話での確認をお願いします。	<b>要 申込</b>
※なお、次回以降の予定は次の通りです。		
<b>1月27日(月)</b>	奈良津町方面 【集合】午後1時半 ユーホー福山店駐車場	
<b>2月22日(土)</b>	加茂町方面 【集合】午後1時半 JR福塩線 万能倉駅北口	

<b>古文書入門講座</b>		
未経験でも大丈夫。崩し字や古文書の読み方をイチから学習する講座です。		
3月から新テキスト「神島町豊表旧記」を解説しています。新たに始めるチャンスです。		
<b>・12月20日(金)</b>	<b>・1月31日(金)</b>	<b>・2月28日(金)</b>
【会場・時間】	市民参画センター 午後7時～9時	<b>初参加 要申込</b>
【講師】	小林悠一(古文書部会 部会長)	
【定員・参加費】	20名 100円 一般の方も歓迎です。	
【備考】	上記解説会・入門講座どちらも、初めて参加を希望される方は、公式サイトに参加申込フォームから申込みか、または事務局まで申し出てください。(メール・電話) 継続して参加されている方は申込み不要です。	



## 古代史部会

### 大人の博物館教室 —古代吉備と古墳文化—

広島県立歴史博物館の「常設展示」を中心に、毎回1つのテーマで見学・学習します。昨年「教室」の新たなシリーズが始まりました。博物館の展示を用いて、古代吉備と古墳文化について話をしたいと思います。

#### 2月22日(土) 群集墳と古墳群

- 【時間】 午前10時30分～12時
- 【集合・解散場所】 広島県立歴史博物館の入口付近
- 【講師】 網本善光(古代史部会 部会長)
- 【参加費】 会員・一般共 100円
- 【その他】 別途入館料は自己負担となります。12月・1月は休講です。

## 中世史部会 (中世を読む)

### 現地学習

#### 1月18日(土) 備後の城館 円寿山城跡と海裏庄 中世を読む(403回)

- 【講師】 谷本 寛 (庄原市文化財保護審議委員)  
(広島県教育委員会発行「広島県中世城館遺跡総合調査報告書」調査員)

旧御調郡に属しながら現在は世羅町となっている宇津戸。中世は海裏庄(うつと)といわれていた。この地に戦国中国地方の覇者毛利元就の末息子の秀包を城主と伝える円寿山城跡がある。備後地方の毛利氏一族の軌跡をたどってみる。

- 【集合・解散時間】 午前10時集合～15時頃解散予定
- 【集合・解散場所】 照善寺 (広島県世羅郡世羅町宇津戸3135)
- 【備考】 比高60mと30mの山城に登ります。徒歩移動は1km程を2セット歩きます。トレッキングポール、歩きやすい服装滑りにくい靴で参加下さい。
- 【注意】 要申込 乗り合わせ希望者の申込期限は1月3日 申込時のコメントに乗り合わせ希望と入れて下さい(実費負担)。担当(杉本)から連絡あり 連絡先を必ず入れて下さい。飲み物、昼食は各自準備下さい。現地積雪、雨の場合は行き先の変更、延期(担当から連絡)。

要  
申込

#### 2月15日(土) 特別編 備中兵乱スペシャル 備中猿掛城と茶臼山城 中世を読む(404回)

- 【講師】 佐藤貴洋(中世史部会 幹事)
- 【集合・解散時間】 午前10時集合～16時頃解散予定
- 【集合・解散場所】 吉備真備公園の駐車場 (岡山県小田郡矢掛町東三成3872-2付近)
- 【備考】 比高230mと100mの山城に登ります。トレッキングポール、歩きやすい服装滑りにくい靴で参加下さい。
- 【注意】 要申込 乗り合わせ希望者の申込期限は2月1日 申込時のコメントに乗り合わせ希望と入れて下さい(実費負担)。担当(杉本)から連絡あり 連絡先を必ず入れて下さい。飲み物、昼食は各自準備下さい。現地積雪、雨の場合は行き先の変更、延期(担当から連絡)。

要  
申込

## 近世近代史部会

近世福山の歴史を学ぶ —画像でも楽しむ我がふるさと—

### 12月14日(土) 阿部藩二代藩主 正福の時代 (第114回)

—第一部 福山藩最初の惣国一揆「享保の百姓一揆」—

【講師】 高木康彦 (近世近代史部会 幹事)

【会場・時間】 市民参画センター 午前9時45分～11時45分

福山藩阿部家二代藩主正福が襲封三年目の享保二年夏、福山藩は甚大なる旱魃により大飢饉に陥りました。ところが、藩府は平年作であるとして年貢の減免は認めず、そのため、12月、福島、水野、松平時代にはなかった福山藩最初の惣国百姓一揆が勃発しました。

今回は百姓一揆が何故、起こったのか、どのような経緯で進行したのか、そしてその結末はどうなったのか、を明らかにします。

### 1月11日(土) 塩崎神社の由来をたどる (第115回)

【講師】 種本 実 (近世近代史部会 幹事)

【会場・時間】 市民参画センター 午前9時45分～11時45分

水江戸時代に干拓により新田が造成された一部の土地には守護神として塩崎神社が祀られてきました。1月の講座では、大門町、東深津町、新涯町、松永町に鎮座している塩(潮)崎神社について由来をたどります。神社を取り巻く町並みは大きく変貌していますが、在りし日のひとコマを掘り起こします。

### 2月8日(土) 松永下駄産業の盛衰 その2 (第116回)

【講師】 河本正二 (近世近代史部会 部会長)

【会場・時間】 市民参画センター 午前9時45分～11時45分

なぜ松永は「日本一の下駄の町」になる事が出来たのか。前回の(1)で挙げた初代丸山茂助氏の日本中から樺太その他まで最適の木材を探索・調達した努力の外にもう一つ、2代丸山茂助氏の、下駄の製作工程に種々の工夫を行った機械を導入して大量生産を可能にし、さらに工夫を推し進めた事が挙げられ、その結果町ぐるみ履物産業と言われる程になり、日本一の下駄の町が誕生した。さらに明治から昭和まで、労働争議や不況、戦争など種々の困難を乗り越えた歴史、跡地に建てられたはきもの博物館について、また茂助弟の丸山鶴吉氏についても触れて行きます。

## 古文書部会

### 古文書解読会

古文書の整理・解読を行っています。現在は「内田博文氏所蔵文書」「井上家文書」を中心に解読中。「内田博文氏所蔵文書」は松永で塩田を経営していた家にまつわる史料、「井上家文書」は品治郡近田村(現・福山市駅家町近田)で組頭を務めた家にまつわる史料です。

・12月18日(水)

・1月15日(水)

・2月19日(水)

【会場・時間】 市民参画センター 午後7時～9時

【講師】 小林悠一 (古文書部会 部会長)

【参加費】 100円 テキスト代必要な場合は実費

初参加  
要申込